

アグリ・フード サポート

2010

12



アグリフードEXPO輝く経営大賞決定

農業改良資金で応援！経営戦略

農業生産法人有限会社深緑茶房
農業生産法人有限会社四位農園

第4回アグリフードEXPO大阪 2011を開催します

http://www.afc.jfc.go.jp/



開催概要については6ページをご覧ください。お問い合わせは
日本公庫農林水産事業総合支援部までご連絡ください。

CONTENTS

輝く経営大賞	アグリフードEXPO 輝く経営大賞決定	3
アグリフード EXPO	第4回アグリフード EXPO 大阪 2011 を開催します！	6
	第5回アグリフード EXPO 東京 2010 開催報告	8
農業改良資金で応援！経営戦略	農業生産法人有限会社深緑茶房	10
	農業生産法人有限会社四位農園	12
農業改良資金制度	農業改良資金制度のご案内	14
調査レポート	平成21年農業経営動向分析結果	15
定期相談窓口	全国で定期相談窓口を開催中	18
公庫本支店窓口一覧	公庫本支店窓口のご案内	20
	●表紙写真／大石農場ハム工房（静岡県・掛川市）のソーセージやハムは本場ドイツでの コンテストで金賞を取るほど美味。ファンも定着し、足しげく通うお客さんも多い。 撮 影／河野千年	

輝く経営大賞

Prize

アグリフード EXPO 輝く経営大賞決定

日本政策金融公庫農林水産事業は、このたび、平成22年度「アグリフード EXPO 輝く経営大賞」の各賞受賞者を決定しました。

「アグリフード EXPO 輝く経営大賞」は、日本政策金融公庫農林水産事業（旧農林漁業金融公庫）が平成17年度に創設したもので、地域の農林漁業、食品産業の担い手としてふさわしい優れた経営体などを表彰し、多くの経営体の目標となる姿を示すと同時に、地域の農林漁業、食品産業の育成および環境保全型農業の推進を図ることを目的に毎年実施しているものです。

全国各支店から候補者の推薦を受け、選定委員会（会長：大泉一貫 宮城大学副学長・事業構想学部長）での審議を経た結果、特に優良と認められる先を下記受賞者一覧のとおり選定しました。

👑 平成22年度アグリフード EXPO 輝く経営大賞受賞者一覧 👑

賞			受賞者		
大賞	経営部門	東日本エリア	株式会社 菅与	秋田県横手市	養豚
		西日本エリア	有限会社 大串農園	高知県宿毛市	果樹、加工販売
	環境部門		有限会社 岡野農場	鳥取県境港市	露地野菜
特別賞			株式会社 千葉県食肉公社	千葉県旭市	食肉センター
			唐津農業協同組合	佐賀県唐津市	農業協同組合

アグリフード EXPO 輝く経営大賞選定委員（五十音順、敬称略）

- 農業ジャーナリスト.....青山 浩子
- 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター研究管理監.....梅本 雅
- 宮城大学副学長・事業構想学部長.....大泉 一貫（会長）
- 学習院女子大学国際文化交流学部教授.....荘林幹太郎
- 有限会社フジタファーム代表取締役.....藤田 毅
- アグリビジネス・ソリューション株式会社代表取締役、税理士.....森 剛一

受賞者のご紹介

経営部門

優れた経営能力、技術力を有し、担い手経営体としての実績を有するとともに、公庫資金を活用した投資により顕著な経営発展を実現されている先

環境部門

環境保全型農業への取り組みを強みとして、優れた経営を行っている先

特別賞

地域農業の活性化や公庫資金の活用推進に大きく寄与された先

大賞 経営部門 (東日本エリア)



Data
代表取締役 菅原一範
設立年月 1989年4月
資本金 7,000万円
売上金 21億100万円
事業内容 養豚（一貫）
住 所 〒013-0103 秋田県横手市
平鹿町下鍋倉字下六ツ段 132-1
TEL 0182-24-3298 FAX 0182-24-3299
URL <http://www.sugayo.co.jp>

株式会社 菅与

受賞のポイント

- 経営不振に陥った農場を引き受け、独自のノウハウで雇用は継続しながら、再生することにより規模を拡大。
- 食品リサイクル工場を立ち上げ、食品ロスを原料としたリキッドフィーディングを活用して育てた豚を「笑子豚（エコポー）」のブランドで販売。
- 飼養データを従業員間で共有し、改善度合いに応じて従業員一律に成功報酬を支給するなど、従業員の一体感を醸成。



大賞 経営部門 (西日本エリア)



Data
代表取締役 大串謙二
設立年月 1996年8月
資本金 300万円
売上金 2億1400万円
事業内容 果樹（文旦、デコポンなど）、加工販売（ジュースなど）
住 所 〒788-0023 高知県宿毛市宇須々木 36
TEL 0880-65-7352 FAX 0880-65-7690
URL <http://www.gogo-oogushi.com/>

有限会社 大串農園

受賞のポイント

- 台風被害で市場販売ができず、やむを得ず実施した対面販売で成功し直接販売を開始。現在、2万5千人の顧客データをパソコンで管理。
- データに基づく栽培管理手法を確立し、作業を標準化することで、品質の均一化と向上を図っている。
- 農商工連携でジュースなどの加工販売にも取り組み、6次産業化を実践している。



大賞 環境部門



Data
代表取締役 岡野修司
設立年月 1994年4月
資本金 500万円
売上金 3億6200万円
事業内容 露地野菜（ダイコンなど）
住 所 〒684-0072 鳥取県境港市渡町 1998
TEL 0859-28-8248 FAX 0859-28-5026
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~okano-nj/index.html>

有限会社 岡野農場



受賞のポイント

- 平成6年から中海干拓地に入植し、減農薬減化学肥料栽培を開始。現在は県内で165haの規模で露地野菜を展開。
- ダイコン 3.5haで有機JAS認証を取得。そのほかのほ場における農薬、化学肥料の使用量は慣行栽培の半分以下。
- ダイコンは大手コンビニエンスストアチェーンのおでんの種として納入されている。



特別賞



Data
代表取締役 長田光司
設立年月 1996年3月
資本金 6億2600万円
売上金 60億1600万円
事業内容 食肉センター
住 所 〒289-2505 千葉県旭市鎌数 6354-3
TEL 0479-62-1073 FAX 0479-63-8515
URL <http://www.cmpc.co.jp/>

株式会社 千葉県食肉公社



受賞のポイント

- 日本公庫が全国初となるABL（動産担保融資）の融資スキームを肉用牛農家に対して行うにあたって、担保となる牛の日常管理や牛の処分に関して協力する協定を公庫と締結し（その後、豚でも締結）、ABLの実現に大きな役割を果たした。



- と畜業務に加え集荷・販売・部分肉加工までの総合的な業務で県内畜産業の発展に貢献。

特別賞



Data
代表理事組合長 才田安俊
設立年月 2006年4月
組合員数 15,420人
販売品販売高 271億円
事業内容 農業協同組合
住 所 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎 598-1
TEL 0955-70-5225 FAX 0955-70-5262
URL <http://www.ja-karatsu.or.jp>

唐津農業協同組合



受賞のポイント

- 公庫資金の活用推進に継続して取り組み、管内農業者の公庫資金活用に貢献。
- 全国ブランドに成長した「佐賀牛」のPR活動において中心的な役割を果たしている。また、直営の大型直売施設を開設し、農家所得の向上に取り組んでいる。



第5回アグリフードEXPO 東京2010開催報告

2010年8月3日、4日に第5回「アグリフードEXPO 東京2010」を東京国際展示場「東京ビッグサイト」で開催しました。国産ブランドを担う農産物と加工食品を、バイヤーの皆さまに広くご紹介する展示商談会です。概要をご報告いたします。



出展数は549先(昨年529先)、13,030名(昨年12,676名)の方にご来場いただきました。会場では活発な商談・交流風景がみられました。

前年に引き続き、国内と海外のバイヤーを招き、個別ビジネスマッチングを行う特別商談コーナーも設置。国内については、3事業（農林水産、国民生活、中小企業）が協力してお取引先の参加を呼びかけ、30社のバイヤーを招聘し、出展者と170件のお引き合わせをしました。



海外からは、日本貿易振興機構（JETRO）のご協力により、中国、シンガポール、インド、タイ、ベトナム、UAE、イギリス、フィンランドなど計15カ国、25社のバイヤーを招聘し、出展者と延べ265件のお引き合わせをしました。



左中：各ブースとも大盛況で活発な商談が行われました

左下：日本貿易振興機構（JETRO）の協力により昨年から始まった海外バイヤーとの商談は、参加者が大幅に増加し、よりにぎわったものになりました

右上：タレントの大桃美代子さんにアグリフードEXPO大使を務めていただきました（開会式の様子。大桃氏左から2人目）

右中：シンポジウムでは各方面でご活躍されている方をパネラーやコーディネーターに招き、6次産業化など農業の新たな展望について語っていただきました



左上：215社のマスコミ関係者のご来場があり、TVの取材も行われました

中央上・中央下・右上・右下：各出展者は試食を通じて自慢の味をPR



■出展者の声

- ・新規取引先の開拓はもちろん、既往顧客に新商品や企業理念を伝える場としても活用している。来場者とじっくり話をする事ができる。
- ・来場者から新たなニーズを直接聞くことができた。想定外の利用者・用途に気づかされ、EXPOに参加することで視野が広がった。ともに頑張る仲間（生産者）に会えることも魅力の一つ。
- ・EXPOの魅力の一つは来場者がとても熱心な点。真剣に商談しようとして来ている人が多い。また、通常の商談会よりも、来場者の業種の幅が広いことも魅力。

■来場者の声

- ・米粉商品の拡大など、時代の潮流を見るのに非常に良い機会となった。
- ・生産者と直接対話できることが魅力。今回、新たな取引が生まれそう。
- ・これまでは中間業者頼みだったが、消費ニーズの変化に的確に対応するためには、産地と連携し、独自の商品を開発することが必要だと感じた。

■特別商談（海外バイヤー）

- ・日本の食品は健康的なイメージが強く、ステイタスを持っており、海外でも引き合いが強いので興味がある。
- ・EXPOは食品産業に特化しており、出展者も多く、効率的に商談を進められるのがいい。

開催概要

●名称

第5回「アグリフードEXPO 2010」
～プロ農業者たちの国産農産物・展示商談会～

●会期

2010年8月3日（火）10：00～17：00
4日（水）10：00～16：00

●会場

東京国際展示場「東京ビッグサイト」西2ホール

●出展者数

549社（501小間）

●登録来場者数

8月3日（火） 6,605名
4日（水） 6,425名

公式登録総来場者数 13,030名

※来場者数は入場時に受付にて登録いただいた方々の数です。よって、2日間にわたってご来場いただいた方も、1名としてカウントしております。

●会期中商談件数 45,443件

●商談引合件数 4,583件

注1）本集計は、出展者から当日提出いただいたアンケート結果に基づきます。

注2）商談引合件数：商談件数のうち、商談会終了後も継続して商談を行う予定の件数。

農業者のチャレンジ、10月から 無利子の農業改良資金で応援！

日本公庫が平成22年10月1日から無利子の農業改良資金の融資を始めたところ、農業者の方々に好評です。新しい技術を導入したい、新たに農産物の加工・直売にチャレンジしたいという農業者の方々からのご相談が目立ちます。その中から2つの活用事例をご紹介します。

活用事例① 農業生産法人有限会社深緑茶房（三重県松阪市）

斬新アイデアで伊勢茶ブランドをアピール 競合していた農家が協同化で見事成功

小売部門だけを協同法人化

有限会社^{しんりょく}深緑茶房は、平成11年に三重県松阪市飯南町の茶農家が、リーフ茶の消費停滞に新たな発想で挑戦しようと、小売部門の開始のために設立した協同会社だ。

協同経営による直接販売に夢をかけたのは松本さん、中村さん、松倉さんの3軒の農家で、今年、新たに仁田さんがメンバーに加わった。4軒の農家は、それぞれが深緑茶房の取締役となり、家族は主に栽培部門の労働力となって家族総出で事業に取り組んでいる。

松本浩社長によると、最初は生産量の約1割



一面に広がる深緑茶房の茶園

の小売を目指し、町を通る国道166号線沿いの小さな物件を借りて直売を開始したのが始まり。茶の生産農家というのは、栽培や荒茶加工にはそれぞれ独自のノウハウがあって、仲間同士でも極意は秘密だった。このため、仲間で作った深緑茶房という会社も、茶農家の屋台骨である栽培・加工の部分については個人経営に残し、新規の小売部門だけを法人化したのが経緯だ。

当初は各自の秘伝を隠し 販売だけ共通に

ところが、会社をスタートしてから、小売部門で茶の味見やブレンド・商品化の企画を話し合っていくと、それぞれの良い点、悪い点が客観的に理解できるようになった。そして、自然と茶の栽培や荒茶加工の秘伝のノウハウまで含めた家族ぐるみの議論が始まっていき、いい意味での連帯感ができてきたという。

ここからが新たな深緑茶房の始まりだった。松本社長らは、農業生産法人の資格を取得し、茶の栽培から製造、小売までを一貫して経営する会社に変えていった。

連帯感に弾みがつき好循環

経営のコンセプトは将来にわたって継続できる合理的な一貫経営の実現だ。後継者が少なくなる茶産地にあって、先人たちが築き上げてきた地域資源を守っていききたいという熱い気持ちもあった。面白いもので、一度、連帯感に弾みがつくと、いろいろなことが好循環していく。スタート当初は24haだった茶園面積は今では30haまで広がり、飯南町の茶園面積180haの17%を占め、お茶の直売割合も約35%にまで高まっている、という。

深緑茶房では、まず茶の栽培・荒茶加工の内容を徹底的に見直した。肥料や農薬を減らした環境対策、味を訴求するための適期管理、合理的な作業スケジュールの作成、茶園の畝の改良による機械化など、挙げればきりがなし。さらに、荒茶加工場は平成13年に国の補助事業を活用して最新設備を整えた。そして、小売部門に関しては、平成16年に緑茶喫茶併設型の新店舗に建替え、リニューアル・オープンした。

「三重ブランド」の認定取得

緑茶喫茶併設店舗では、消費者がおいしいお茶の入れ方を体験しながら、お茶や菓子を味わうことができる。日本家屋風できれいな坪庭のある店舗は、松本さんや社員の自慢の施設だ。

昨年からUターンした地元出身の女性の菓子職人が店舗スタッフに加わり、自家製の手づくり菓子も次々に登場した。これが女性客を中心に口コミで評判が広がっている。経営にますます広がりが出てきたのだ。

松本社長らは、行政と連携して小学生をはじめとした消費者への「お茶育」にも熱心に取り組んでいる。そんなイベントで活躍するのは、松本社長はじめ、日本茶インストラクターや日本茶アドバイザーの資格を持つ社員たちである。

こうした、生産から小売までの一貫経営のビジネスモデルが評価されて、平成18年の第45



自家製の手作り茶菓子が女性客に人気（11月にオープンした2号店）

回農林水産祭で天皇杯受賞の荣誉に輝いた。平成20年には、自然を生かす技術をコア・コンセプトとした「三重ブランド」の認定を取得し、飯南町の茶産地をはじめとした伊勢茶ブランドのPR活動にますます力を注いでいる。

早くも津駅に2号店オープン

平成21年春には、安全・安心と、高品質でおいしいお茶を提供するシステムを高度化させるため、J-GAPも取得した。

また、平成22年11月には無利子の農業改良資金を活用して津駅の商業施設の1階に深緑茶房2号店をオープンさせた。この2号店では厳選したリーフ茶の提供を通じて、飯南町の茶産地と消費者の一体感づくりを目指したい、という。協同会社設立当初、秘伝のお茶の栽培や荒茶加工のノウハウは知られたくないと警戒しあっていた生産農家が今では経営意識にめざめて、どんどん意欲的に新たな経営展開をめざすというのは素晴らしいことだ。

（営業推進部 菊池 潤）

Data データ

農業生産法人有限会社深緑茶房

住 所／〒515-1411
三重県松阪市飯南町粥見4209-2
代表取締役／松本 浩
資 本 金／1250万円
従 業 員／役員4名、正社員4名、パート17名

活用事例② 農業生産法人有限会社四位農園（宮崎県小林市）

大規模経営で野菜の機能性引き出す 畑の真ん中の冷凍野菜工場が話題に

減農薬・生産履歴管理を徹底

四位というめずらしい名前がつく四位農園は、宮崎県小林市で大規模な土地利用型の農業を営む農業生産法人である。

その経営手法のポイントは、野菜の機能性を最大限に引き出すために減農薬、そして減化学肥料による農法を追求していること、しかも生産履歴管理も徹底させ、消費者から安全・安心の評価を得ることを心がけていることだ。

この農法だけならば、今や全国に同じような取り組みをしている農業者は多い。しかし四位農園が際立つのは、その経営規模にある。現在、野菜の作付面積が90haに及び、しかも年25回転させる、という。6年前から新植を開始した茶園30haが加わり、それを含めた経営規模は実に120haに広がっている。

社長の四位廣文さんは現在59歳。野菜農家に生まれ、高校生のときから家業を手伝ってきた。自分の将来について、野菜生産でいくのだという強い意志を持っていたので高校卒業と同時に、専門的な知識を得ようと福岡県久留米市にあった農林水産省の試験場で2年間研修生になった。



弟の保幸さん（右）は四位社長にとって、経営面でも大切なパートナー

四位社長によると、試験場では野菜の生理学だけでなく、どのように育てたらどんな特徴を持った野菜ができるか、ということを学んだ。履歴管理がカギになると直感したのもその頃だ、という。

そればかりでない。父親からは野菜生産にはコスト意識を持てと厳しく言われていたので、計数管理の方法や簿記も独学で勉強した、という。確かに、野菜は高級野菜を別にして市場などでの価格が相対的に安いので、収益をあげるにはコスト管理が重要になる。その点を父親からたたき込まれて素早く自分のものにすることが、その後の四位農園の成長のカギとなった。

中国野菜のずさんさで経営転換

しかし、その四位社長も経営が当初からうまくいっていたわけではない。実は、昭和53年に四位商事株式会社を設立し、野菜の集荷販売で大きい商売をしようと近隣農家との契約栽培に踏み切った。また、中国野菜の輸入にも手を広げた。ところが中国でのずさんな農薬管理を目の前にして、自分の経営手法とは違うと感じ、経営方針を180度転換した。

四位社長には、農業を通じて社会的責任を果たしたいという気持ちがあった。そのためには農薬や施肥もキッチンと管理することが必要だ。そこで、四位社長は平成元年に農業生産法人である四位農園を設立した。

この経営方針の転換をきっかけに、四位社長は、契約栽培に頼らずに自分の信じるやり方で「安全・安心の野菜をつくる」、さらに経営が十分に成り立つように「規模の経営をめざす」と



若い社員の活躍に期待しているという四位社長（左端）

いうことに死に物狂いで取り組んだ。

四位社長によると、畜産農家から調達した畜ふんと野菜残さで独自の完熟たい肥をつくり、土づくりにもこだわった。平成15年には真空冷却装置と保冷庫を整備して、鮮度対策にも取り組んだ。

ただ大規模経営ゆえに課題が残った。旬の野菜を1年を通じて安定して提供するにはどうしたらいいのかという点だ。そこで、考え着いたのが、何と畑のまん中に冷凍野菜工場を建てることだった。工場の完成は4年前の平成18年だ。考えることが大胆である。マスコミで話題にもなった。

農業改良資金で体制を強化

四位農園が高く評価される理由は生産履歴管理の徹底にある。栽培管理のために始めたが、今では安全と安心を訴求する姿勢がユーザーから高く評価されている。平成12年にトレーサビリティの電子化をスタートさせ、順次高度化に取り組んだ。畑や工場の作業実績を社員が毎日タッチパネルで入力し、このデータが商品の履歴になっている。

野菜の機能性を研究して商品提案しているのもすごい。本社前の広い試験ほ場では1区画に10種類のハウレンソウが、また別の1区画には数種類の新品種の野菜が、さらにもう一区画には肥料別の試験栽培という形だ。

野菜については定期的に栄養分析し、ユーザー

の要望に最適な品種の野菜を提案する。収穫した野菜は真空冷却装置で急速冷却し、鮮度と機能性を封じ込めている。さらにトンネルフリーザーなどの冷凍装置を使い、急速冷凍することにより1年を通じておいしい野菜を提供できるようになった。平成22年秋には、日本公庫が融資を開始した無利子の農業改良資金を活用して、冷凍野菜工場をさらに増強した。

一早くグローバルGAPも取得

四位社長によると「よい仲間がいなければ、今の経営はなかった」という。その仲間の1人、同年代の下沖秀人取締役は、栽培や工場の技術的な部分を支えてくれている。また四位社長が過労で倒れた約10年前に実弟の保幸さん（現取締役）が社団法人農山漁村文化協会を辞め、経営に加わってくれた。四位社長は「自分と下沖は理系。弟の保幸は文系。理系と文系がコラボしたら良いバランスになったんだ（笑）」と語ってくれた。

ISO9001、ISO22000やグローバルGAPの取得を通じて若い人材が育ったのも、四位社長にとってはうれしいことだった。

しかし、四位社長はまだ満足していない。「自分の務めは若い社員たちに飛躍のキッカケを用意してあげること。食料自給率の向上に真正面から向き合わせたい」という。

四位社長は今後の経営について、水田裏作や、他社とのネットワークにも関心を示している。経営を引き継ぐ後世代のことなど四位社長の夢は尽きない。

（営業推進部 菊池 潤）

Data データ

農業生産法人有限会社四位農園

住 所／〒886-0213
宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3028番地
代表取締役／四位 廣文
資 本 金／5000万円
従 業 員／正社員・パート120名

農業改良資金制度のご案内

日本公庫は平成22年10月1日から無利子の農業改良資金の融資を始めました。すでに、多数のご相談をいただいております。今号でもその具体的な活用事例を紹介いたしました。

日本公庫は引き続き皆さまのチャレンジを応援していきます。

農業改良資金は昭和31年に創設された無利子の農業制度資金で、認定農業者にかぎらず、「意欲ある多様な担い手」の方々が行う生産・販売分野におけるチャレンジ性に富んだ取り組みに対して融資する資金制度です。

また農商工連携などの認定を受けた食品企業の方々もご融資の対象になります。

10月1日から

新

無利子の農業改良資金は日本公庫が融資しています。

【農業改良資金の概要】

お借り入れの条件

金利：無利子

償還期限：10年以内(うち据置期間3年以内)
※一部12年以内(5年以内)の特例があります。

限度額：個人1,800万円 法人5,000万円
※下記のご利用いただける方のうち①③の方は、必要額の8割に相当する額と上記の額のいずれか低い額です。

ご利用いただける方

①主業農業者
②認定農業者
③認定就農者 など

必要な手続き

都道府県の農業改良措置の認定を受ける必要があります。
(公庫による融資審査の手続きもあります)

お問い合わせは日本公庫各支店へ

資金の使いみち

- ①新たな農業部門の経営を始める
- ②新たな加工事業を始める
- ③新たな生産方式を導入する
- ④新たな販売方式を導入する

場合の設備資金等にご利用いただけます。

価格低迷で養豚経営は大幅減益も、コスト高は一服

平成21年農業経営動向分析結果

日本公庫農林水産事業が、農業を営むご融資先の3カ年(平成19～21年)の決算データを集計しました。この「農業経営動向分析」で、平成21年は天候不順が稲作経営を、長引く景気低迷による消費不振が果樹経営(カンキツ)を、卸売価格の低迷が養豚経営をそれぞれ圧迫し、減収減益に追い込んだことが明らかになりました。

耕種部門

天候不順により収穫量が減少したことなどから稲作や畑作、野菜経営では軒並み利益率は低下

稲作

豊作であった20年産の在庫過多、消費者の低価格志向などから米価が下落し、利益は前年を下回りました。特に、北海道では天候不順で単収が前年と比べ大幅に減少し、法人経営の利益は前年比20.5%減となりました。

7%減少したほか、価格低迷で初めて市場隔離が行われましたが、売上高は0.8百万円減、利益は0.4百万円減となりました。

【ブドウ】

21年は、景気が悪化した20年から売上高、利益ともにほぼ横ばいとなりました。

北海道畑作

6月以降の天候不順で小麦などの収穫量は減少したものの、交付金などにより個人経営の売上高は前年比0.8百万円増となりました。しかし、経費が増加したため、利益は1.0百万円減となりました。

野菜(露地)

夏場の天候不順で特にタマネギなどの根茎菜の価格が高騰し、個人・法人経営ともに売上高は増加しましたが、都府県では経費が増加したため、利益は個人経営で前年比0.2百万円減、法人経営で0.9百万円減となりました。

果樹(個人のみ)

【カンキツ】

21年は隔年結果の表年であったほか、景気低迷による消費者の買い控えや供給過剰により市場隔離が2度行われたものの価格は低迷し、売上高、利益は前年比でそれぞれ約1.0百万円減となりました。特に利益率は前年比6.5ポイント下落し、耕種部門の中で最大の下落幅となりました。

野菜(施設)

トマトの価格は、夏場に天候不順で高騰したものの、秋以降は入荷が重なり価格が下落しました。また、イチゴの価格は卸売数量が前年比7%減りましたが、景気低迷により前年並みとなりました。

このため、個人経営では売上高はほぼ横ばいで、燃料動力費は前年比約20%減少したものの、ほかの経費が増加し、利益は北海道で0.5百万円減りました。都府県では0.1百万円増となりました。

【リンゴ】

開花期の天候不順により出荷量は前年産比約

施設花き

切り花類の出荷量は前年比 4% 減りましたが、切り花の輸入量が過去最高となったほか、消費者の低価格志向から、花きの価格は軒並み前年を下回りました。

この結果、個人経営の売上高は 0.6 百万円減、法人経営では 3.2 百万円減となりましたが、燃料動力費が減少し、利益は個人経営で 0.3 百万円増、法人経営 0.4 百万円増となりました。

茶

鹿児島県の低温被害や静岡県の上摘みにより、荒茶生産量は前年産比 10% 減りましたが、緑茶

消費量が減少しているため、荒茶価格は 10% 下落しました。

このため、売上高は個人経営で 3.1 百万円減、法人経営で 12.4 百万円減となりました。

キノコ

20 年は輸入量が減少し、国産キノコの需要が高まり価格は上昇傾向でしたが、21 年は輸入が底打ちし、シイタケなどを中心に国内生産量が増加傾向となったため、価格は下落しました。

この結果、個人経営では売上高、利益ともに 0.9 百万円減、法人経営も利益は 5.1 百万円減となりました。

畜産部門

酪農・肉用牛経営は収益増も養豚・採卵鶏経営は軒並み悪化

酪農

輸入チーズ価格の下落を受けて北海道では 21 年 10 月にチーズ加工用の生乳価格が引き下げられましたが、総合乳価は前年を上回り、飼料価格の下落などから、個人・法人経営ともに増収増益となりました。

特に北海道よりも都府県で利益率の改善が顕著となりました。

肉用牛肥育

景気低迷による消費不振から肉牛価格は総じて軟調に推移し、肉用牛肥育経営安定対策事業（通称：マルキン）と肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業（通称：補完マルキン）が全畜種（肉専用種、交雑種、乳用種）で通年発動されました。

また、飼料価格の下落などにより、利益は約 3 ～ 8 百万円増加しました。

養豚一貫

20 年秋以降、輸入品の国内在庫が高止まりしたほか、国産豚肉の供給量が大幅に増加したため、価格は低迷し、21 年 10 月には調整保管制度が 6 年ぶりに発動されました。

このため売上高は個人経営で 10.6 ～ 14.6 百万円減、法人経営で 8.2 ～ 24.2 百万円減と大きく落ち込みました。

飼料価格は下落したものの利益は個人経営で 4.5 ～ 7.0 百万円減、法人経営で 8.4 ～ 14.3 百万円減と非常に厳しい年となりました。

採卵鶏

景気低迷による業務用需要の落ち込みなどで、21 年の卵の価格は、前年比約 10% 下落しました。

このため、売上高は個人経営 13.4 百万円減、法人経営 49.7 百万円減となり、飼料価格は下落したものの、利益は個人経営で 1.7 百万円減、法人経営で 4.5 百万円減となりました。

ブロイラー（個人のみ）

前年に輸入品の国内在庫が高止まりしたため、卸売価格は軟調に推移しました。しかし、在庫調整が進んだ結果、21 年 9 月以降堅調に推移しました。

このため、売上高は 106.5 百万円、利益は 9.7 百万円といずれも前年と同水準となりました。

（情報戦略部 岩崎悟之）

集計・分析対象

- 対象経営部門 農業収入の第一位部門で区分
- 集計・分析対象先 ご融資先のうち 9,143 先（個人経営 8,612 先、法人経営 531 先）
- 対象決算期 平成 19 年・20 年・21 年の各 12 月期

【注】

- ・文章中、利益率とあるのは、個人経営では経常利益（税引前）＋減価償却費を、法人経営では税引後当期純利益＋減価償却費をそれぞれ売上高で除した比率のことをいいます。
- ・法人経営の果樹（カンキツ、リンゴ、ブドウ）、露地・施設野菜（北海道）、肉用牛肥育（北海道）、ブロイラーの 5 部門は集計サンプル数が少ないため、集計・分析は省略しました。

【耕種部門における収支状況】

経営部門			集計・分析対象数	①売上高（百万円）				②利益（百万円）				③利益率（②／①）（ポイント）			
				20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	
個人経営	稲作	北海道	1,127	22.7	21.9	▲ 0.7	▲ 3.3% ➡	9.6	8.6	▲ 1.0	▲ 10.9% ↓	42.4%	39.1%	▲ 3.3 ↓	
		都府県	1,345	21.7	21.9	0.2	1.1% ➡	9.0	8.9	▲ 0.2	▲ 1.8% ➡	41.7%	40.5%	▲ 1.2 ↓	
	北海道畑作		957	39.5	40.2	0.8	1.9% ➡	13.1	12.0	▲ 1.0	▲ 7.7% ↓	33.1%	29.9%	▲ 3.1 ↓	
	果樹	カンキツ	都府県	155	11.5	10.5	▲ 1.0	▲ 8.5% ↓	4.8	3.7	▲ 1.1	▲ 22.7% ↓	41.8%	35.4%	▲ 6.5 ↓↓
		リンゴ	都府県	96	13.9	13.2	▲ 0.8	▲ 5.5% ↓	4.6	4.1	▲ 0.4	▲ 9.2% ↓	32.7%	31.4%	▲ 1.3 ➡
		ブドウ	都府県	45	13.6	13.3	▲ 0.3	▲ 1.9% ➡	5.3	5.4	0.1	1.7% ➡	39.2%	40.7%	1.5 ➡
	露地野菜	北海道	192	31.4	33.1	1.7	5.6% ↑	10.1	10.4	0.4	3.9% ➡	32.1%	31.6%	▲ 0.5 ➡	
		都府県	419	25.6	26.2	0.6	2.3% ➡	9.2	9.0	▲ 0.2	▲ 2.2% ➡	35.7%	34.2%	▲ 1.6 ➡	
	施設野菜	北海道	54	27.3	27.5	0.2	0.7% ➡	7.2	6.7	▲ 0.5	▲ 6.7% ↓	26.4%	24.5%	▲ 1.9 ➡	
		都府県	626	25.2	25.3	0.1	0.4% ➡	9.0	9.1	0.1	1.3% ➡	35.7%	36.1%	0.3 ➡	
施設花き	都府県	445	30.1	29.4	▲ 0.6	▲ 2.1% ➡	8.8	9.1	0.3	2.9% ➡	29.3%	30.8%	1.5 ➡		
茶	都府県	270	25.7	22.6	▲ 3.1	▲ 12.1% ↓	8.0	6.6	▲ 1.4	▲ 17.9% ↓	31.1%	29.0%	▲ 2.1 ↓		
キノコ	都府県	84	35.6	34.7	▲ 0.9	▲ 2.6% ➡	9.0	8.0	▲ 0.9	▲ 10.4% ↓	25.1%	23.1%	▲ 2.0 ↓		
経営部門			集計・分析対象数	①売上高（百万円）				②利益（百万円）				③利益率（②／①）（ポイント）			
				20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	
法人経営	稲作	北海道	10	41.2	37.3	▲ 3.9	▲ 9.5% ↓	8.7	6.9	▲ 1.8	▲ 20.5% ↓	21.1%	18.5%	▲ 2.6 ↓	
		都府県	189	47.4	48.8	1.4	2.9% ➡	6.9	5.9	▲ 1.0	▲ 14.0% ↓	14.5%	12.2%	▲ 2.4 ↓	
	北海道畑作		12	70.0	68.5	▲ 1.5	▲ 2.1% ➡	9.6	13.4	3.8	40.1% ↑↑	13.7%	19.5%	5.9 ↑↑	
	露地野菜	都府県	14	88.0	91.5	3.5	4.0% ➡	6.7	5.8	▲ 0.9	▲ 14.0% ↓	7.7%	6.3%	▲ 1.3 ➡	
	施設野菜	都府県	34	73.3	77.9	4.6	6.3% ↑	4.7	5.6	0.9	18.5% ↑	6.4%	7.2%	0.7 ➡	
	施設花き	都府県	29	87.9	84.7	▲ 3.2	▲ 3.7% ➡	4.4	4.8	0.4	10.1% ↑	5.0%	5.7%	0.7 ➡	
	茶	都府県	22	115.1	102.7	▲ 12.4	▲ 10.8% ↓	11.3	12.9	1.5	13.7% ↑	9.8%	12.5%	2.7 ↑	
	キノコ	都府県	10	124.9	125.2	0.3	0.2% ➡	13.5	8.4	▲ 5.1	▲ 38.0% ↓↓	10.8%	6.7%	▲ 4.1 ↓↓	

【畜産部門における収支状況】

経営部門			集計・分析対象数	①売上高（百万円）				②利益（百万円）				③利益率（②／①）（ポイント）		
				20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年
個人経営	酪農	北海道	1,146	61.2	66.6	5.4	8.8% ↑	13.8	17.0	3.2	23.1% ↑	22.6%	25.6%	3.0 ↑
		都府県	810	58.2	61.1	2.9	4.9% ➡	12.5	15.9	3.4	26.9% ↑	21.5%	26.0%	4.5 ↑↑
	肉用牛肥育	北海道	39	118.7	129.3	10.6	8.9% ↑	1.1	8.7	7.7	718.8% ↑↑	0.9%	6.7%	5.9 ↑↑
		都府県	440	102.7	105.3	2.6	2.6% ➡	6.6	9.9	3.3	50.4% ↑↑	6.4%	9.4%	3.0 ↑
	養豚一貫	北海道	11	96.4	81.9	▲ 14.6	▲ 15.1% ↓	14.7	7.8	▲ 7.0	▲ 47.2% ↓↓	15.3%	9.5%	▲ 5.8 ↓↓
		都府県	196	83.3	72.7	▲ 10.6	▲ 12.7% ↓	12.2	7.7	▲ 4.5	▲ 36.8% ↓↓	14.7%	10.6%	▲ 4.0 ↓↓
	採卵鶏	都府県	81	108.3	94.9	▲ 13.4	▲ 12.4% ↓	8.9	7.2	▲ 1.7	▲ 19.1% ↓	8.2%	7.6%	▲ 0.6 ➡
法人経営	ブロイラー	都府県	74	106.4	106.5	0.1	0.1% ➡	10.1	9.7	▲ 0.5	▲ 4.8% ➡	9.5%	9.1%	▲ 0.5 ➡
	経営部門		集計・分析対象数	①売上高（百万円）				②利益（百万円）				③利益率（②／①）（ポイント）		
				20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年	対前年 増減率	20 年	21 年	21 年 -20 年
	酪農	北海道	48	240.5	265.9	25.5	10.6% ↑	33.5	45.1	11.6	34.8% ↑↑	13.9%	17.0%	3.0 ↑
		都府県	61	130.8	140.7	9.9	7.6% ↑	14.7	21.7	7.0	47.5% ↑↑	11.3%	15.5%	4.2 ↑↑
	肉用牛肥育	都府県	23	295.1	300.6	5.5	1.9% ➡	▲ 1.7	6.5	8.2	-↑↑	0.0%	2.2%	-▲
	養豚一貫	北海道	9	157.9	149.7	▲ 8.2	▲ 5.2% ↓	6.1	▲ 2.3	▲ 8.4	-↓↓	3.9%	0.0%	-↓↓
法人経営	養豚一貫	都府県	28	340.6	316.4	▲ 24.2	▲ 7.1% ↓	19.0	4.7	▲ 14.3	▲ 75.3% ↓↓	5.6%	1.5%	▲ 4.1 ↓↓
	採卵鶏	都府県	42	500.5	450.7	▲ 49.7	▲ 9.9% ↓	20.7	16.2	▲ 4.5	▲ 21.6% ↓	4.1%	3.6%	▲ 0.5 ➡

注 1）利益は、個人経営では、経常利益（税引前）＋減価償却費、法人経営では、税引後当期純利益＋減価償却費のことをいいます。

注 2）増減額、増減率、増減ポイントはラウンドの関係で数値が合わない場合があります。

○売上高・利益＋償却費の前年比

↑↑：30% 以上増 ↑：5 ～ 30% 増 ➡：± 5% 増減 ↓：5 ～ 30% 減 ↓↓：30% 以上減

○利益率の前年比

↑↑：4 ポイント以上増 ↑：2 ～ 4 ポイント増 ➡：± 2 ポイント増減 ↓：2 ～ 4 ポイント減 ↓↓：4 ポイント以上減

皆さまのもっと身近に！

全国で定期相談窓口を開催中
～お気軽にご相談ください～

日本公庫農林水産事業では、皆さまのお近くの施設で資金や経営に関するご相談をお受けする定期相談窓口を開催しています。
定期相談窓口は事前予約制となっている支店もあります。開催の曜日、時間などが都合により変更となる場合もありますので、裏表紙の最寄りの支店かお客さまフリーコール（0120-154-505）にお問い合わせください。

定期相談窓口設置場所

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
北海道	日本公庫釧路支店	第2・4水曜日	12:00～15:00
青森	五所川原中央公民館	第2・4水曜日	13:00～16:00
	三八地域県民局 地域農林水産部	第2・4木曜日	13:00～16:00
岩手	久慈地区合同庁舎	不定期	未定
	釜石地区合同庁舎	不定期	未定
	盛岡地区合同庁舎	不定期	未定
	奥州地区合同庁舎	不定期	未定
宮城	登米市中田農村環境 改善センター	第1水曜日	10:00～12:00
	JA みやぎ登米 豊里支店	第3水曜日	10:00～12:00
	JA いわでやま	第1木曜日	10:00～12:00
	JA あさひな	第2火曜日	13:00～15:00
	JA みやぎ亘理	第1木曜日	13:00～15:00
	JA みやぎ仙南	第2水曜日	13:00～14:30
	JA 加美つば	第2木曜日	12:00～14:00
	JA 仙台	第2木曜日	13:00～14:30
	東北銀行古川支店	第2水曜日	13:00～
	JA 栗っこ	第3水曜日	12:00～14:00
	JA いしのまき	第3木曜日	13:00～14:30
	JA 古川	第4水曜日	10:00～15:00
秋田	JA 秋田おばこ	随時	未定
	JA 秋田しんせい	随時	未定
	JA こまち	随時	未定
	JA 秋田ふるさと	随時	未定
	東北銀行鹿角支店	随時	13:00～17:00
	JA 大潟村	随時	未定
山形	土地改良事業団体 連合会庄内支所	毎週木曜日	13:00～16:00
	土地改良事業団体 連合会置賜支所	第2・4火曜日	13:00～16:00

(H22.11.30 現在)

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
福島	日本公庫郡山支店	第4火曜日	11:00～14:00
	福島県酪農協同組合 本店（本宮）	第3木曜日	11:00～14:00
	JA そうま本店	第4水曜日	11:00～14:00
	JA ふたば北部 営農センター	第3水曜日	11:00～14:00
	JA いわき市本店	第2水曜日	11:00～14:00
	会津農業共済組合	第2・4木曜日	13:00～16:00
茨城	茨城県土浦合同庁舎	第2・4木曜日	13:00～16:00
	茨城県鉾田合同庁舎	第2・4水曜日	13:00～16:00
	茨城県筑西合同庁舎	第2・4金曜日	13:00～16:00
	茨城県常陸太田合同庁舎	第2・4火曜日	13:00～16:00
栃木	那須塩原市役所	第2・4木曜日	13:00～16:00
	日本公庫佐野支店	第3木曜日	13:00～16:00
群馬	西部県民局	第2・4火曜日	13:00～16:00
	吾妻県民局	第1・3木曜日	13:00～16:00
	利根沼田県民局	第1・3水曜日	13:00～16:00
	東部県民局	第2・4水曜日	13:00～16:00
千葉	旭市役所千漈支所	第1・3木曜日	9:30～16:30
	匝瑳市民ふれあい センター	第2・4水曜日	13:00～16:00
	銚子市役所 相談センター	第2金曜日	13:00～16:00
神奈川	JA 三浦市初声会議室	第3火曜日	11:00～14:00
	JA さがみ総合経済 センター（御所見支店）	奇数月 第3木曜日	12:00～15:00
	JA 湘南経済センター 西棟	偶数月 第3水曜日	11:00～14:00
新潟	上越地域振興局	第1・3木曜日	未定
	柏崎地域振興局	第1・3水曜日	未定
	新潟地域振興局（津川庁舎）	第3木曜日	未定
	新潟地域振興局（新津庁舎）	第2水曜日	未定
	南魚沼地域振興局	第1または2水曜日	未定

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
富山	砺波体育センター 2階研修室	毎週火曜日	12:00～15:00
	入善町中央公民館	第2・4木曜日	13:00～16:00
	日本公庫高岡支店	第3金曜日	12:00～15:00
石川	加賀農林事務所	第3水曜日	13:00～16:00
	奥能登農林総合事務所	第2水曜日	13:00～16:00
山梨	笛吹市春日居あぐり 情報ステーション	毎週木曜日	15:00～17:00
	高根市農村環境改善 センター	第1水曜日	15:00～17:00
	南アルプス市高度農業 情報センター	第2・4水曜日	15:00～17:00
長野	日本公庫小諸支店	第3水曜日	13:00～15:00
	日本公庫松本支店	第2水曜日	13:00～15:00
	日本公庫伊那支店	第4水曜日	13:00～15:00
岐阜	高山市役所丹生川支所	第2・4水曜日	12:00～16:00
	中津川市役所	第1・3水曜日	12:00～16:00
静岡	富士宮市役所	第4火曜日	10:00～12:00
	富士開拓農協	第4火曜日	13:00～15:00
	JA とびあ浜松 大久保支店	第1・3水曜日	10:00～12:00
	JA 遠州中央園芸 流通センター	第3水曜日	14:00～16:00
	JA ハイナン茶ぐりん牧之原	第2水曜日	10:00～12:00
	JA 遠州夢咲大坂支店	第2水曜日	14:00～16:00
滋賀	高島地域農業センター	第4水曜日	13:00～15:00
	甲賀地域農業センター	第3水曜日	13:00～15:00
	東近江地域農業センター	第2水曜日	13:00～15:00
	湖東地域農業センター	月1回土曜日	終日
兵庫	日本公庫豊岡支店	第3木曜日	13:30～16:00
	日本公庫姫路支店	第3火曜日	13:30～16:00
	淡路市立中央公民館 しづのおだまき館	第3水曜日	13:30～16:00
和歌山	日本公庫田辺支店	第1・3水曜日	13:00～16:00
鳥取	鳥取県西部総合事務所	第2・4火曜日	13:00～16:00
	鳥取県中部総合事務所	第1・3火曜日	13:00～16:00
島根	JA いずも本店	第2水曜日	15:00～17:00
	島根県西部農林振興 センター	第4金曜日	10:00～12:00
	島根県西部農林振興 センター益田事務所	第4木曜日	14:00～17:00
	JA 石見銀山本店	第3火曜日	13:00～16:00
岡山	JA 雲南本店	月1回（10日）	15:00～17:00
	おかやま酪農業 協同組合本所	第4週火曜日	10:00～15:00
	真庭市蒜山振興局	第2週木曜日	10:00～15:00
	備中県民局井笠支局	第3週木曜日	10:00～15:00
	備中県民局新見支局	第3週火曜日	10:00～15:00

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
広島	JA 三次本店	第1・3水曜日	13:00～16:00
	JA 庄原本店	第1・3木曜日	10:00～14:00
	日本公庫福山支店	第2金曜日	13:00～16:00
山口	JA 下関	第1・3水曜日	13:00～16:00
	萩市役所市民館	第2・4火曜日	13:00～16:00
	JA 長門大津宮農 センター	第4火曜日	13:00～16:00
	JA 周南	第4木曜日	13:00～16:00
徳島	吉野川合同庁舎2階	第1・3火曜日	13:00～16:30
香川	西讃農業改良普及 センター	第3火曜日	13:30～16:00
	東讃農業改良普及 センター	第2木曜日	13:30～16:00
	中讃農業改良普及 センター	第3木曜日	13:30～16:00
愛媛	JA えひめ南口ーン センターみなみ	奇数月 第2木曜日	13:00～15:00
	日本公庫新居浜支店	第3木曜日	13:30～16:00
	愛南町農業支援 センター	偶数月 第2木曜日	13:00～15:00
高知	JA 高知はた本所	第4木曜日	13:00～16:00
	JA 土佐あき	第2木曜日	13:00～16:00
福岡	八女地域農業改良普及 センター	不定期	未定
佐賀	JA さが白石地区 統括支所営農センター	毎週水曜日	13:30～16:30
長崎	県央振興局農林部 農業振興課	第2火曜日	13:30～16:30
	島原振興局農林水産部 農業振興課	第2水曜日	13:30～16:30
	県北振興局農林部 農業振興課	隔月 第2木曜日	13:30～16:30
大分	日田総合庁舎	第3水曜日	11:00～16:00
	宇佐総合庁舎	月1回	13:00～16:00
宮崎	北諸県農業改良普及 センター	偶数月 第2水曜日	10:30～15:00
	西諸県農業改良普及 センター	奇数月 第3水曜日	10:30～15:00
	児湯農業改良普及 センター	奇数月 第4水曜日	10:30～15:00
鹿児島	日本公庫鹿屋支店	第2・4 火・水曜日	火 13:00～15:00 水 9:00～12:00

公庫本支店窓口のご案内

資金のご利用や経営に関するお問い合わせ・ご相談は、お近くの窓口
またはホームページ（www.afc.jfc.go.jp/）にお気軽にどうぞ

支店名	郵便番号・住所	代表電話番号
札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北一条西2-2-2 北海道経済センタービル4階	011-251-1261
北見支店	〒090-0036 北見市幸町1-2-22	0157-61-8212
帯広支店	〒080-0013 帯広市西3条南6-2	0155-27-4011
青森支店	〒030-0861 青森市長島1-4-2	017-777-4211
盛岡支店	〒020-0021 盛岡市中央通2-2-5 住友生命ビル6階	019-653-5121
仙台支店	〒980-6011 仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル11階	022-221-2331
秋田支店	〒010-0001 秋田市中通1-2-26 秋田農林ビル4階	018-833-8247
山形支店	〒990-0042 山形市七日町3-1-9 山形商工会議所会館3階	023-625-6135
福島支店	〒960-8041 福島市大町1-16	024-521-3328
水戸支店	〒310-0026 水戸市泉町1-2-4 水戸泉町第一生命ビル7階	029-232-3623
宇都宮支店	〒320-0026 宇都宮市馬場通り1-1-11 宇都宮TDビル3階	028-622-9195
前橋支店	〒371-0023 前橋市本町1-6-19	027-243-6061
さいたま支店	〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-109-1 大宮宮町ビル6階	048-645-5421
千葉支店	〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-9	043-227-4435
東京支店	〒100-0004 千代田区大手町1-8-2 新公庫ビル2階	03-3270-9791
横浜支店	〒231-8831 横浜市中区南仲通2-21-2	045-641-1841
新潟支店	〒950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 NBF新潟テレコムビル3階	025-240-8511
富山支店	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル2階	076-441-8411
金沢支店	〒920-0919 金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル5階	076-263-6471
福井支店	〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階	0776-33-2385
甲府支店	〒400-0031 甲府市丸の内2-26-2	055-228-2182
長野支店	〒380-0836 長野市南泉町1081 長野東京海上日動ビル5階	026-227-8900
岐阜支店	〒500-8819 岐阜市千石町2-22	058-264-4855
静岡支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡5階	054-286-0233
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル6階	052-582-0741
津支店	〒514-0021 津市万町津133	059-229-5750
大津支店	〒520-0047 大津市浜大津1-2-28	077-525-7195
京都支店	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20 四条烏丸FTスクエア9階	075-221-2147
大阪支店	〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビル8階	06-6131-0750
神戸支店	〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-19	078-362-8451
奈良支店	〒630-8253 奈良市内侍原町51-1	0742-26-8781
和歌山支店	〒640-8158 和歌山市十二番丁58	073-423-0644
鳥取支店	〒680-0834 鳥取市永楽温泉町271 朝日生命鳥取ビル5階	0857-20-2151
松江支店	〒690-0887 松江市殿町111 松江センチュリービル7階	0852-26-1133
岡山支店	〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18-401	086-232-3611
広島支店	〒730-0042 広島市中区国泰寺町2-3-20	082-249-9152
山口支店	〒753-0074 山口市中央5-2-47	083-922-2140
徳島支店	〒770-0856 徳島市中洲町1-58	088-656-6880
高松支店	〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階	087-851-2880
松山支店	〒790-0003 松山市三番町6-7-3	089-933-3371
高知支店	〒780-0834 高知市堺町2-26 高知中央第一生命ビル3階	088-825-1091
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-20 天神幸ビル7階	092-751-5736
佐賀支店	〒840-0801 佐賀市駅前中央1-5-10 朝日生命佐賀駅前ビル8階	0952-27-4120
長崎支店	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル7階	095-824-6221
熊本支店	〒860-0801 熊本市安政町4-22	096-353-3104
大分支店	〒870-0034 大分市都町2-1-12	097-532-8491
宮崎支店	〒880-0805 宮崎市橘通東3-6-30	0985-29-6811
鹿児島支店	〒892-0821 鹿児島市名山町1-26	099-805-0511
本店	〒100-0004 千代田区大手町1-9-3 公庫ビル	0120-154-505（お客さま専用） 03-3270-4116

アグリ・フードサポート (2010.12)

制作 (株)日本政策金融公庫農林水産事業 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-3 公庫ビル
 営業推進部 営業統括課 TEL 03-3270-2268（報道課）
 情報戦略部 報道課 URL <http://www.afc.jfc.go.jp/>